

【議案第64号】 令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第8号

12月補正予算の財源が「財政調整基金」ではない理由は？

問 これまでは、新型コロナウイルス対策費に係る財源は「財政調整基金」を取り崩して充てていたが、今回の補正は前年度繰越金を財源としている。何か理由があるのか。

答 今回の12月補正予算については、歳入において、介護保険事業特別会計の過年度分精算金がまとまった額で計上が予定されている一方で、歳出予算が抑えられていることもあり、今回に限り、「財政調整基金」を取り崩すことなく、繰越金の中で充てることにした。

【議案第65号】 令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第9号

マイナンバーカードに対する市民の不安感情をどう解消する？

問 マイナンバーカード普及促進のためのキャンペーン事業も大事ではあるが、市民の中には、マイナンバーカードの取得により、個人情報外部に漏えいするのではないかと誤解をしている人が、まだまだたくさんいる。まずは、こうしたマイナンバーカードに対する誤解の解消に力点を置くべきではないか。

答 新年1月下旬頃から行う各地区公民館での出張受付を中心として、市役所窓口や企業出張受付、市公式ホームページ、広報等を通じ、マイナンバーカードは公的個人認証サービスにより、セキュリティ対策が施されていることなど、マイナンバーカードに対する誤解等の解消に向け、引き続き丁寧に説明していきたい。



12月補正予算歳出全般

今回の補正は、新たな地元産業活性化策や市民生活を守るための支援策が少ないのでは？

問 12月補正予算全体を通し、今こそ、地元産業の活性化に向けた新たな仕掛けや市民生活を守るための支援策が必要と考えるが、関係各課から予算要求はなかったのか。

説明 今回の12月補正予算を組む際は、市民や事業者が必要としていることを十分把握した上で、予算計上することとした。予算査定の結果、新型コロナウイルス対策分として8,940万円余を計上したところであるが、3月補正に向け、さらに市民や事業者に必要なものを適切に計上していきたい。



【議案第68号】

鯖江市一般職の任期付職員の採用に関する条例等の一部改正について

保健師や社会福祉士等の応募を増やすためには、他市町よりも低い給与体系の見直しが必要では？

問 今回の任期付職員制度を取り入れることにより、専門的な知識を要する保健師や社会福祉士の採用に対する応募が増えるとは考え難い。むしろ、応募が少ないのは、他市町と比較し基本給与が低いからであり、職員力を上げるためにも、給与体系を見直すべきではないか。

答 今回の一部改正は、少しでも応募を増やしたいという思いで、任期付という新たな採用枠を設けるなど、様々な仕掛けの一つとして講じるものである。給与体系については、鯖江市は従来から国家公務員に準じた初任給としており、初任給を引き上げるとなると、全ての職員の給与体系の見直しが必要となるため、今後、研究していきたい。